

排水処理設備を更新

環境配慮と地域共生を見据えた大阪事業所の取り組み

2024年7月

塩野香料株式会社は、大阪事業所再構築活動の一環として、排水処理設備の更新を実施しました。2024年7月より新しい排水処理設備の本格稼働を開始し、環境負荷の低減と安定した事業継続の両立を目指しています。

長年にわたり稼働してきた旧設備は、約半世紀にわたって事業活動を支えてきた一方、開放型構造であったことから、稼働状況によっては騒音や臭気の面で近隣の皆様にご不便をおかけする場面がありました。

今回導入した新しい排水処理設備は、処理工程全体を密閉構造とすることで、周辺環境への影響に配慮した設計としています。騒音については、送風機などの主要機器を防音構造内に設置し、運転音の低減を図っています。また、臭気対策として脱臭設備を備え、処理過程で発生するにおいへの対応を強化しました。

排水処理は、油水分離やpH調整など複数の工程を経て行われており、関係法令に基づく管理のもとで運用されています。排水水質については、行政機関への定期的な報告を継続し、基準に適合した状態で管理を行っています。

当社は今後も、設備の適切な維持管理と運用を通じて、環境への配慮と事業活動の両立を図るとともに、地域社会との良好な関係を大切にしながら、持続可能なものづくりに取り組んでまいります。

